

◆玩具は第二の親——  
 稀少なおもちや絵の本  
 かつてアサヒビールのラベルに波と朝日が描かれていたのをご記憶の方はおられるでしょうか。最初にその意匠をデザインした浮世絵師が歌川(中井)芳滝、彼の弟子であり娘婿だったのが本書の作者川崎巨泉(一八七七〜一九四二)です。巨泉は、師の後を継いで商業画家として活躍する傍ら、郷土玩具に魅せられ、それらを主題にしたおもちや絵を多数描きました。

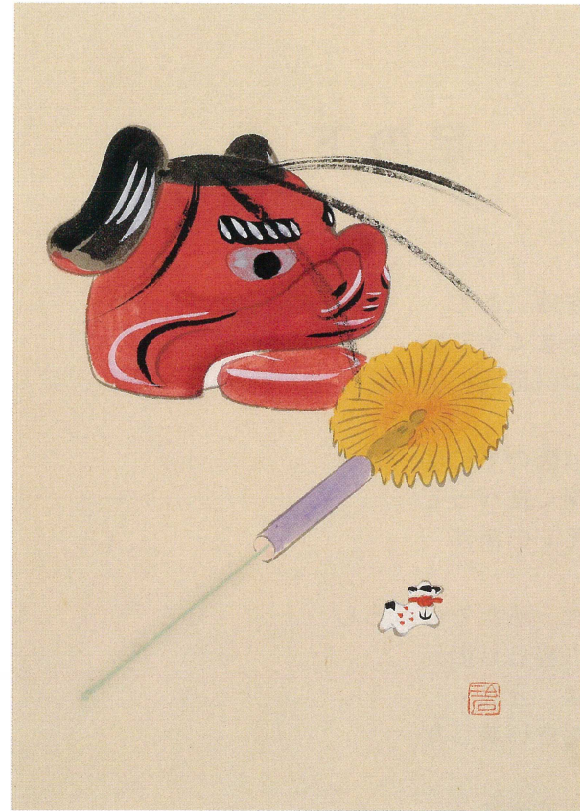
月十五枚ずつ頒布されました。完成までに約二年の月日を費やした全十集三百枚の大作で、制作総数わずかも言われています。おもちや絵の本は以前からあり、安永二年におもちや絵に狂歌を添えた『江都二色』が編まれ、明治には雑誌『うなるの友』が刊行されましたが、なかでも本書は序に「玩具は人間を作る第二の親」とまであり、玩具への思いの深さが際立っています。

掲載図は、第二集第五図に当たり、「阿波徳島の張子獅子頭、江戸時代の御来迎、奈良法華寺の犬守」を描いています。右下に小さく描かれた「奈良法華寺の犬守」は、今も奈良市の法華寺で厄除け・長寿・安産のお守りとして授与されています。法華寺は奈良時代創建の寺で、皇族や公家の女性が門主を務める尼門跡寺院でした。犬守は、その代々の門主と尼僧が護摩堂の灰と土を練り、胡粉で着色して雲母粉で磨き、ひとつひとつ手作りしています。本書は我が国伝来の土俗玩具が姿を消そうとしているのを憂えた巨泉が、「第二の親のために謝恩となす」為に描き残したものです。犬守の現在を知れば、巨泉の喜びはいかばかりでしょう。

(天理図書館 近江めぐり)

<天理図書館のお知らせ>

Tel 0743-63-9200 URL <https://www.tcl.gr.jp/>  
 ◇平日(午前9時~午後5時半) 土・日・祝(午前9時~午後4時半)  
 ○2月の休館日: 5日・12日・14日~24日・28日  
 (本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください)  
 ※最新の情報については公式HP、Twitterでご確認ください。



▶【おもちゃせんしゅ】

十帖  
 大正11(1922)年自跋  
 縦35.2cm 横24.5cm

